

令和4年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年7月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 四半期報告書提出予定日 令和3年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年2月期第1四半期の連結業績（令和3年3月1日～令和3年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第1四半期	1,460	18.0	113	423.7	114	402.2	95	462.2
3年2月期第1四半期	1,238	△17.2	21	△73.0	22	△71.2	16	△74.7

(注) 包括利益 4年2月期第1四半期 98百万円 (313.7%) 3年2月期第1四半期 23百万円 (△58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年2月期第1四半期	11.45	-
3年2月期第1四半期	2.01	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
4年2月期第1四半期	4,149	3,503	84.4	427.78
3年2月期	4,069	3,559	87.5	421.76

(参考) 自己資本 4年2月期第1四半期 3,503百万円 3年2月期 3,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年2月期	-	4.00	-	4.00	8.00
4年2月期	-	-	-	-	-
4年2月期(予想)	-	4.00	-	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和4年2月期の連結業績予想（令和3年3月1日～令和4年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,750	7.3	300	33.5	300	30.1	250	△12.4	30.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	4年2月期1Q	8,490,103株	3年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	4年2月期1Q	300,284株	3年2月期	50,084株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	4年2月期1Q	8,325,851株	3年2月期1Q	8,429,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、令和2年2月以降の「新型コロナウイルス感染症」の世界的な感染拡大による国内外の経済への深刻な影響が続いていることに加え、令和3年4月25日には政府から3度目の緊急事態宣言が発出されました。そして、大都市圏で開始された「新型コロナウイルスワクチンの大規模接種」による感染者数の一段の抑制が期待されているものの、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,460百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は113百万円（前年同期比423.7%増）、経常利益は114百万円（前年同期比402.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円（前年同期比462.2%増）と前年同期実績を上回りました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業は、3度目の緊急事態宣言が発出されたことにより一部の取引先店舗では臨時休業および時短営業の対応を余儀なくされましたが、人気お菓子キャラクター「たべっ子どうぶつ」の別注案件が主要取引先で増加したこと等により、売上高929百万円（前年同期比45.3%増）、営業利益87百万円（前年同期比227.4%増）と前年同期実績を上回りました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業は、新たに発売した人気お菓子キャラクター「たべっ子どうぶつ」商品と、巣ごもり需要の高まりからバスボール（フィギュア入り入浴剤）の販売が好調に推移しました。しかしながら、昨年の社会現象ともいえる人気漫画「鬼滅の刃」商品の売上を補うまでには至らず売上高531百万円（前年同期比11.3%減）となりましたが、オリジナル商品の売上構成比率が上昇したことにより利益率が改善し営業利益25百万円（前年同四半期は営業損失5百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、4,149百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少額51百万円により一部相殺されたものの、流動資産「その他」の増加額77百万円、受取手形及び売掛金の増加額59百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ135百万円増加し、645百万円となりました。これは主に、流動負債「その他」の減少額14百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額111百万円、賞与引当金の増加額21百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少し、3,503百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額61百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益95百万円、剰余金の配当△33百万円）により一部相殺されたものの、自己株式の増加額121百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年2月期の連結業績予想につきましては、令和3年4月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,613,178	2,587,952
受取手形及び売掛金	596,703	656,130
電子記録債権	130,023	78,925
商品	259,902	276,272
その他	126,033	203,701
貸倒引当金	△246	△247
流動資産合計	3,725,595	3,802,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△14,697	△14,697
建物及び構築物(純額)	0	0
その他	177,836	182,794
減価償却累計額	△155,089	△159,491
その他(純額)	22,746	23,303
有形固定資産合計	22,746	23,303
無形固定資産	40,302	37,325
投資その他の資産		
投資有価証券	82,522	86,296
退職給付に係る資産	45,412	45,398
繰延税金資産	140,310	141,581
その他	13,629	13,613
貸倒引当金	△876	△876
投資その他の資産合計	280,998	286,013
固定資産合計	344,048	346,642
資産合計	4,069,644	4,149,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	252,577	363,957
未払法人税等	7,316	24,854
賞与引当金	20,475	42,120
その他	185,498	170,593
流動負債合計	465,867	601,525
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	1,925	2,183
その他	42,208	42,208
固定負債合計	44,133	44,391
負債合計	510,001	645,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	494,865	494,865
利益剰余金	2,584,567	2,646,179
自己株式	△19,043	△140,293
株主資本合計	3,522,387	3,462,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,484	39,794
繰延ヘッジ損益	2,724	2,012
為替換算調整勘定	△2,953	△1,096
その他の包括利益累計額合計	37,255	40,710
純資産合計	3,559,643	3,503,460
負債純資産合計	4,069,644	4,149,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年5月31日)
売上高	1,238,381	1,460,873
売上原価	883,647	1,005,381
売上総利益	354,733	455,492
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	100,862	97,678
賞与引当金繰入額	6,205	21,645
退職給付費用	4,104	3,636
執行役員退職慰労引当金繰入額	252	258
荷造運搬費	66,727	78,812
貸倒引当金繰入額	△37	1
その他	155,012	140,317
販売費及び一般管理費合計	333,127	342,348
営業利益	21,605	113,143
営業外収益		
受取利息	—	21
受取配当金	175	125
為替差益	730	1,268
その他	329	350
営業外収益合計	1,234	1,766
営業外費用		
自己株式取得費用	—	208
その他	1	1
営業外費用合計	1	209
経常利益	22,838	114,699
税金等調整前四半期純利益	22,838	114,699
法人税、住民税及び事業税	5,807	21,230
法人税等調整額	68	△1,903
法人税等合計	5,875	19,327
四半期純利益	16,962	95,372
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,962	95,372

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年5月31日)
四半期純利益	16,962	95,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,429	2,310
繰延ヘッジ損益	784	△711
為替換算調整勘定	△286	1,856
その他の包括利益合計	6,928	3,455
四半期包括利益	23,891	98,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,891	98,827
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和3年4月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受けて、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）において買付けを行い、令和3年4月15日から令和3年5月14日までに普通株式250,000株、121,250千円の取得を行いました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度末時点の仮定に重要な変更を行っておらず、当該仮定に基づき、繰延税金資産（141,581千円）の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況やその経済への影響が当初の想定より変化した場合には、繰延税金資産が減額され税金費用が計上される可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	639,757	598,623	1,238,381	—	1,238,381
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	639,757	598,623	1,238,381	—	1,238,381
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	26,703	△5,098	21,605	—	21,605

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和3年3月1日 至 令和3年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	929,766	531,107	1,460,873	—	1,460,873
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	929,766	531,107	1,460,873	—	1,460,873
セグメント利益	87,423	25,719	113,143	—	113,143

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。